

開＝開館時間 休＝休館日 内＝内容 対＝対象 期＝日時・期間・期日 所＝場所 定＝定員・定数・人員
料＝料金 申＝申し込み 問＝問い合わせ 共＝共通事項 HP＝ホームページ 託＝託児あり

講座・催しなどで、特に記載がないものは
●誰でも参加(申し込み)可 ●応募多数のときは抽選

グリーンファーム(観光農業公園)

〒891-0204 喜入一倉町5809-97 ☎345-3337FAX345-2822

開 9時～17時(4月～10月は8時30分～18時)

休 12月29日～1月1日

■体験プログラム		
体験名	日 時	体験料
トールペイントでランチョンマットに椿と牡丹を描こう	1月10日(水)・24日(水)の10時～15時30分(全2回)	2200円(2回分)
紙すきハガキ	1月16日(火)・30日(火)の10時～11時30分	200円
リラックスヨガ	1月19日(金)・26日(金)の10時30分～11時30分	各500円
2018森のカレンダーを作ろう	1月20日(土)10時～12時、13時30分～15時30分 1月23日(火)13時30分～15時30分	
新聞紙で赤鬼と青鬼を作ろう	1月28日(日)10時～12時 13時30分～15時30分	200円

定あり
申事前に直接窓口か電話で同公園へ。同公園HPからも申し込み可

■モニターバスツアー「春のグリーンファームとかつお節削り体験」

グリーンファームでリサイクル散歩、野菜収穫、スイートポテトのレモンクリームタルトの調理体験を行った後、枕崎市でかつお節削り体験や茶ぶしをお楽しみいただきます。

期 3月4日(日) 9時～17時15分
◇発着場所 鹿児島中央駅西口など
定 44人(先着順) 料 3500円(昼食代込み)
申 電話で1月10日～2月14日に南薩観光 ☎298-9880へ
※県知事登録旅行業第2-175号



市立美術館

〒892-0853 城山町4-36 ☎224-3400FAX224-3409

開 9時30分～18時(入館は17時30分まで)

休 月曜日(休日のときは翌平日)、12月29日～1月1日

①小企画展「さつま→かごしま～幕末、明治の郷土美術」

期 2月12日(振休)まで
◇ギャラリートーク 1月13日・27日、2月10日の土曜日14時～15時
料 一般300円、高校・大学生200円、小・中学生150円(所蔵品展と共通)



かのうほうがい 狩野芳崖『群老雅遊の図』

②地元講師講演会「万国博覧会と近代薩摩焼の黎明」

◇講師 深港恭子氏(黎明館主任学芸専門員)

期 1月21日(日)14時～15時30分
料 無料 申 不要

③日曜美術講座「水彩画入門」

◇講師 小牟禮雄一氏(鹿児島玉龍高校教諭)

期 1月28日(日)10時～16時
定 20人 料 500円 ◇申込期限 1月17日

④学芸講座「薩摩の画僧秋月とその後継者について」

◇講師 山西健夫(同館副館長)

期 2月11日(祝)14時～15時30分
定 24人 料 無料 ◇申込期限 1月31日

③④共
申往復はがきかファクス、メールで各申込期限(必着)までに同館へbijutu-gaku@city.kagoshima.lg.jpへ

かごしま近代文学館・メルヘン館

〒892-0853 城山町5-1 ☎226-7771FAX227-2653

開 9時30分～18時(入館は17時30分まで)

休 火曜日(休日のときは翌平日)、12月29日～1月1日

■ワークショップ「節分」を折ろう

◇講師 折遊かごしま

対 4歳以上の子どもと保護者(大人のみ可)
期 1月27日(土)15時～16時30分
定 50人 料 無料
申往復はがきかメールで1月15日(必着)までに同館へkinmeru@k-kb.or.jpへ

■開館20周年記念事業 いとうせいこう×梯久美子×しまおまほトークショー

◇テーマ 島尾敏雄・ミホを辿って

◇出演 いとうせいこう氏(作家・クリエイター)、梯久美子氏(ノンフィクション作家)、しまおまほ氏(島尾敏雄の孫・漫画家・エッセイスト)

期 2月13日(火)18時30分～20時
所 市民文化ホール 料 無料
◇入場整理券が必要(2月5日までにかごしま近代文学館・メルヘン館、市立科学館、市民文化ホール、谷山サザンホール、ふるさと考古歴史館で配布。郵送は要問い合わせ)



島尾敏雄・ミホ(撮影：島尾伸三)

わらべうた教室

毎月第2金曜日(11時～11時30分)は、三島理恵氏(ピアノ講師)によるわらべうた教室を開催しています。親子でお気軽にお越しください♪(無料・申込不要)

ふるさと考古歴史館

〒891-0144 下福元町3763-1 ☎266-0696FAX284-5274

開 9時～17時

休 月曜日(休日のときは翌平日)、12月29日～1月1日

①冬季企画展「ふるさと考古歴史館蔵出し収蔵品展」

市民から寄贈された土人形や紙人形、ふすまの裏側に使われていた古文書、国鉄時代の記念乗車券などの収蔵品を展示しています。

期 2月4日(日)まで
料 無料



②恐竜ブーメランを作って飛ばそう！

紙に恐竜の絵を描いたブーメランを作ります。

対 小・中学生(小学生は保護者同伴)
期 1月21日(日)10時～12時 定 30人
料 100円(別途常設展の観覧料が必要)

③おもしろ縄文体験をしよう！

石おので木を削ったり、石包丁で野菜を切ったりして縄文時代の生活を体験します。

対 小・中学生(小学生は保護者同伴)
期 1月27日(土)10時～12時 定 30人
料 100円(別途常設展の観覧料が必要)

④ひな人形を作ろう！

人形の形をした焼き物に千代紙を貼りつけてひな人形を作ります。

対 4歳～小学6年生(保護者同伴)
期 2月11日(祝)10時～12時 定 20人
料 200円(別途常設展の観覧料が必要)

②～④共
申事前に電話で同館へ

西郷隆盛を愛した
かいおんじ ちようごろう
海音寺潮五郎

私が取材しました

編集サポーターがゆく！

海音寺潮五郎は、「わが前に桜島あり 西郷も大久保も見し火を噴く山ぞ」の歌を詠んだ鹿児島生まれの歴史小説家です。出身地は西南戦争の舞台にもなった大口市(現在の伊佐市)。幼いころから西郷隆盛にまつわる話を聞き、西郷に興味を抱いたそうです。

歴史小説家になった海音寺は、西郷について誤った説が多いと憤り、自ら西郷伝を書くこと決めたそうです。作品の『西郷隆盛』は膨大な史料を徹底的に研究して執筆したノンフィクションとなっています。真の西郷像にこだわった海音寺は、史実と想像をはっきり区別しつつ、自分の考えも付加しているため、堅苦しさがなく読者の共感をいざなうのが魅力なのだそう。

常設展示では、書籍や書をはじめ、自宅の書斎を再現したコーナーなどもあります。ぜひかごしま近代文学館を訪れて、当時の海音寺に思いを寄せてみてはいかがでしょうか。



再現された自宅の書斎

執筆当時の海音寺の様子が想像できます



編集サポーター 堀川

かごしま文化工芸村

〒890-0033 西別府町2758 ☎281-7175FAX281-7215

開 9時30分～18時

休 火曜日(休日のときは翌平日)、12月29日～1月3日

①コットン小物作り

内 身近にある布地を使ったエコ帽子やエコバッグ作り

期 2月7日・21日の水曜日10時～12時(全2回)
定 20人 料 500円程度
◇申込期限 1月23日



②冬の草木染め

内 紅花、くちなしを使った草木染め

期 2月9日・16日の金曜日10時～12時(全2回)
定 20人 料 500円程度
◇申込期限 1月26日

③電動ロクロ体験講座Ⅱ

内 電動ろくろの技法による陶芸の基本

期 2月15日・22日、3月15日の木曜日13時30分～15時30分(全3回)
定 9人 料 500円程度
◇申込期限 2月1日



④日曜大工Ⅱ

内 曲げベニヤを使った立体曲面のある木工作品作り

期 2月18日(日)10時～15時 定 10人
料 3000円程度 ◇申込期限 2月4日

①～④共
対 市内に住むか通勤・通学する人
申 はがきかファクスで各申込期限(必着)までに同施設へ